

別紙 1

令和5年における宇都宮市の交通事故の発生状況について

1 令和5年における宇都宮市の交通事故の発生状況について

本市の交通事故発生状況について、第11次宇都宮市交通安全計画の重点視点到位置付けた「子どもや高校生」「高齢者」「自転車利用者」に関するデータを中心に掲載する。

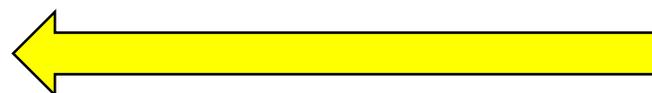
[事故統計関係資料提供 栃木県警察本部ほか]

1 宇都宮市の交通事故発生件数，死者数，重傷者数の推移

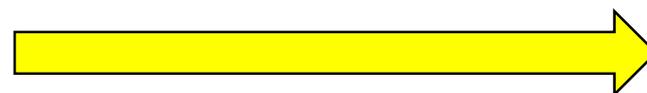
本市の交通事故発生件数は減少傾向にあり，令和5年は，発生件数1,102件と過去最少値，死者数は8人と目標値内となったが，重傷者数は142人と横ばいの状況にある。

① 過去5年間の推移と第11次宇都宮市交通安全計画（R7）の目標値

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	目標値
発生件数	1,474件 (▲23件)	1,368件 (▲106件)	1,281件 (▲87件)	1,238件 (▲43件)	1,102件 (▲136件)	1,040件以下
死者数	11人 (▲1人)	13人 (2人)	12人 (▲1人)	4人 (▲8人)	8人 (4人)	8人以下
重傷者数	134人 (▲17人)	131人 (▲3人)	106人 (▲25人)	149人 (33人)	142人 (▲7人)	90人以下



第10次交通安全計画

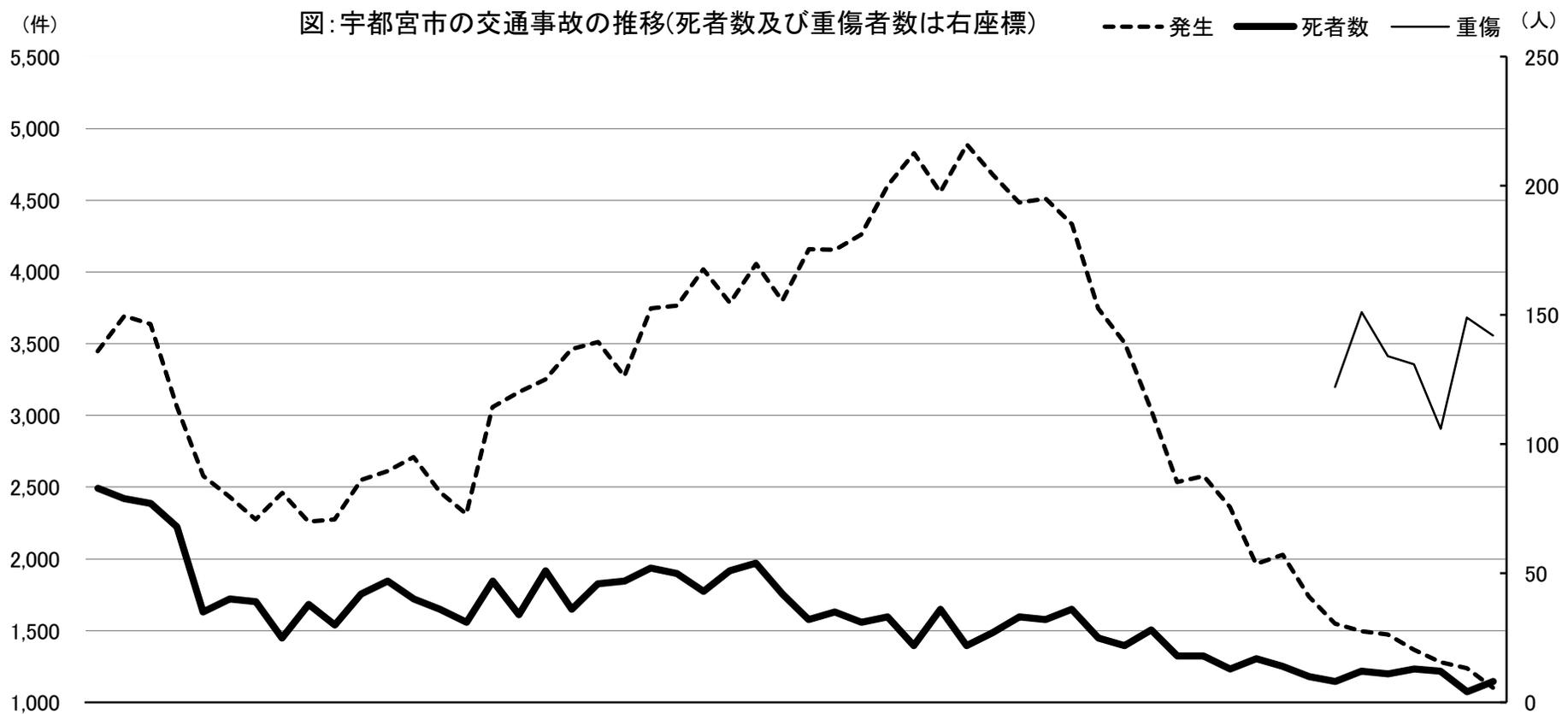


第11次交通安全計画

注) 下段()は対前年増減数

1 令和5年における宇都宮市の交通事故の発生状況について

② 宇都宮市の交通事故の推移



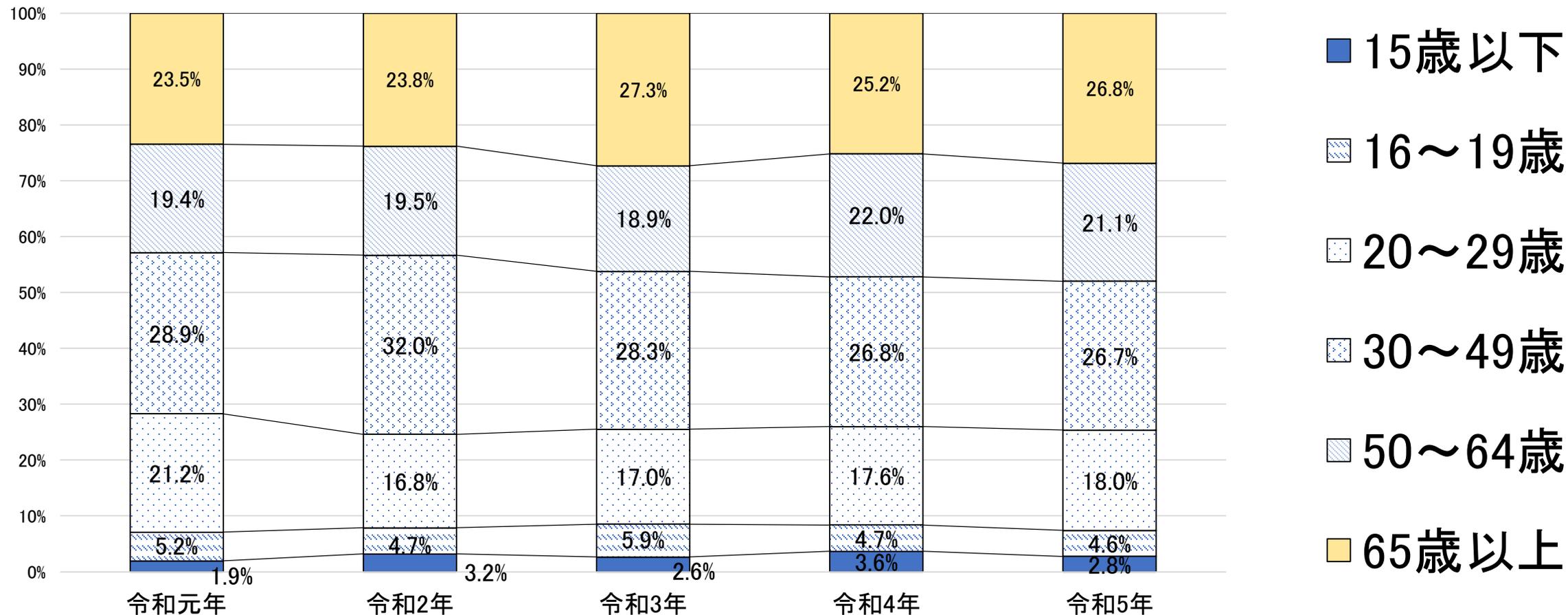
- 【令和5年】**
- ① 発生件数 1,102件
(過去最小値)
 - ② 死者数 8人
 - ③ 重傷者数 142人

昭和45年 昭和46年 昭和47年 昭和48年 昭和49年 昭和50年 昭和51年 昭和52年 昭和53年 昭和54年 昭和55年 昭和56年 昭和57年 昭和58年 昭和59年 昭和60年 昭和61年 昭和62年 昭和63年 平成2年 平成3年 平成4年 平成5年 平成6年 平成7年 平成8年 平成9年 平成10年 平成11年 平成12年 平成13年 平成14年 平成15年 平成16年 平成17年 平成18年 平成19年 平成20年 平成21年 平成22年 平成23年 平成24年 平成25年 平成26年 平成27年 平成28年 平成29年 平成30年 令和2年 令和3年 令和4年 令和5年

1 令和5年における宇都宮市の交通事故の発生状況について

2 世代別交通事故発生状況

図：第1当事者の世代別交通事故発生状況



※ 第1当事者：交通事故に関係した者のうち、過失が最も重い者をいい、過失同等の場合は被害がより軽い者をいう。

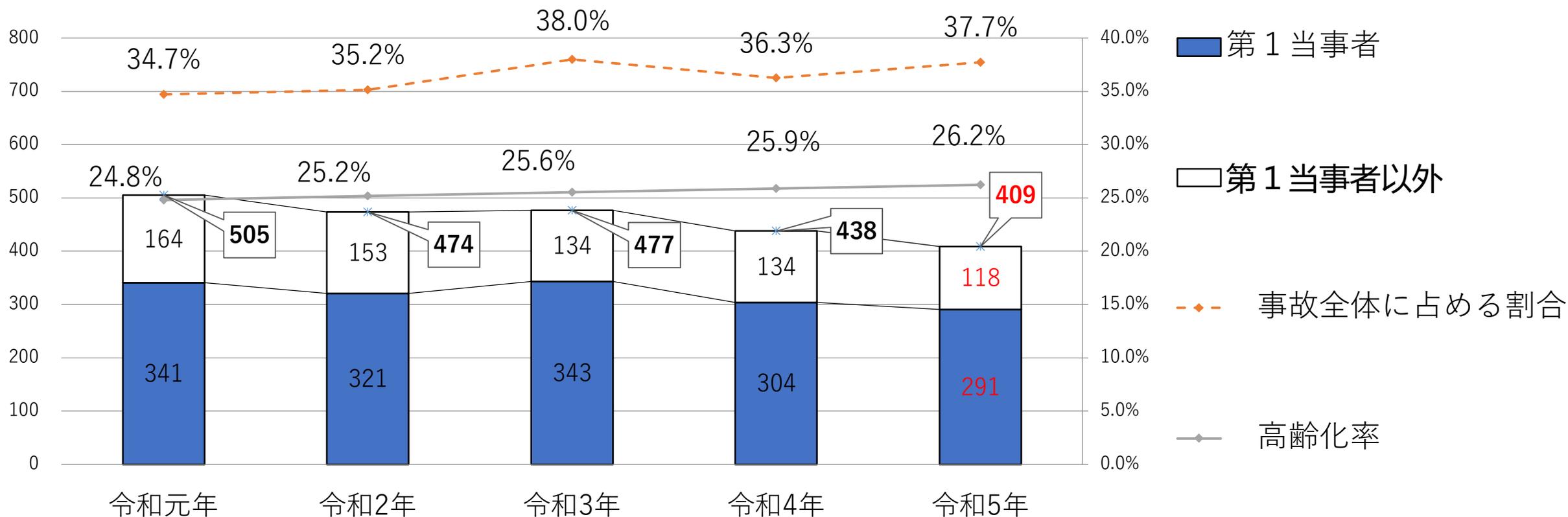
1 令和5年における宇都宮市の交通事故の発生状況について

3 高齢者の交通事故発生状況

① 高齢者の交通事故発生件数の推移

高齢化の進展に伴い交通事故全体に占める割合は増加傾向にあるものの、高齢者の関係する交通事故発生件数は減少傾向にある。

高齢者の交通事故発生件数、事故全体に占める割合、高齢化率の推移



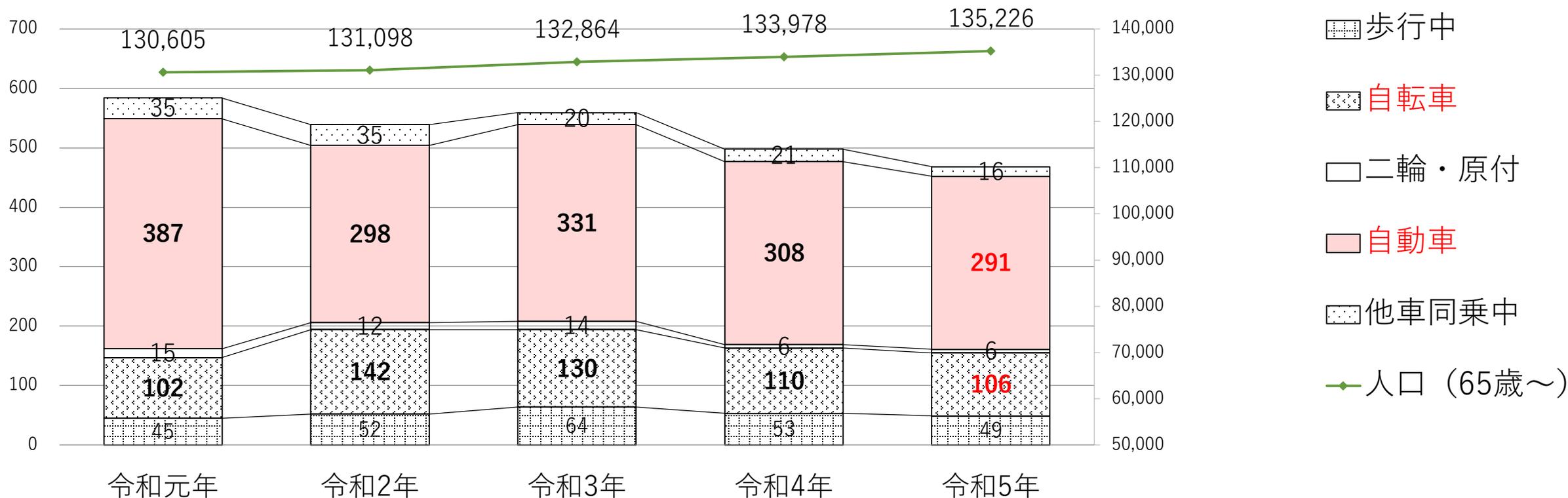
1 令和5年における宇都宮市の交通事故の発生状況について

3 高齢者の交通事故発生状況

② 高齢者の交通事故の状態別当事者数と人口の推移

高齢者の交通事故のうち、状態別では、自動車乗車中が62.2%、自転車乗車中が22.7%を占めている。

高齢者の交通事故の状態別当事者数と人口の推移



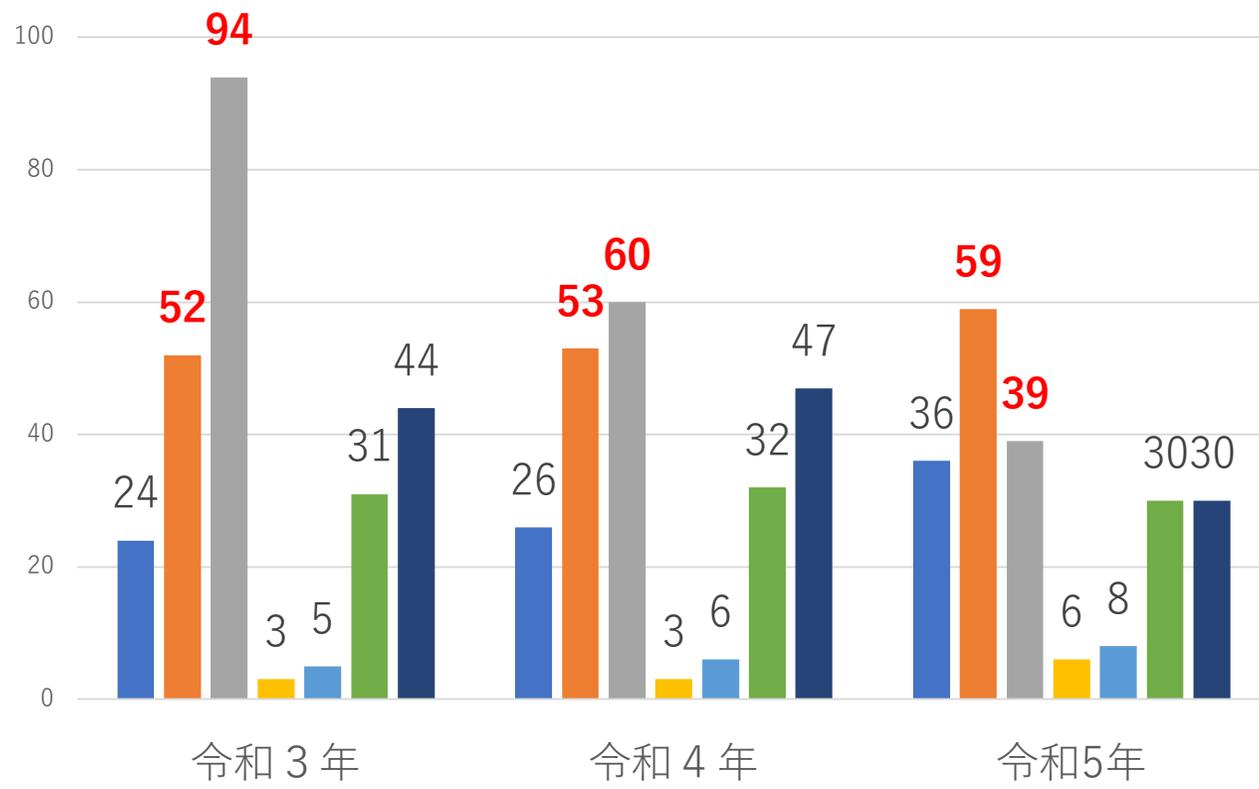
1 令和5年における宇都宮市の交通事故の発生状況について

3 高齢者の交通事故発生状況

③ 高齢者の交通事故の内在的原因

高齢者が自動車運転中に第1当事者となった交通事故のうち、内在的原因では「安全確認が不十分」だったことや、「安全確認をしなかった」ことが多い。

高齢者（第1当事者）の内在的原因



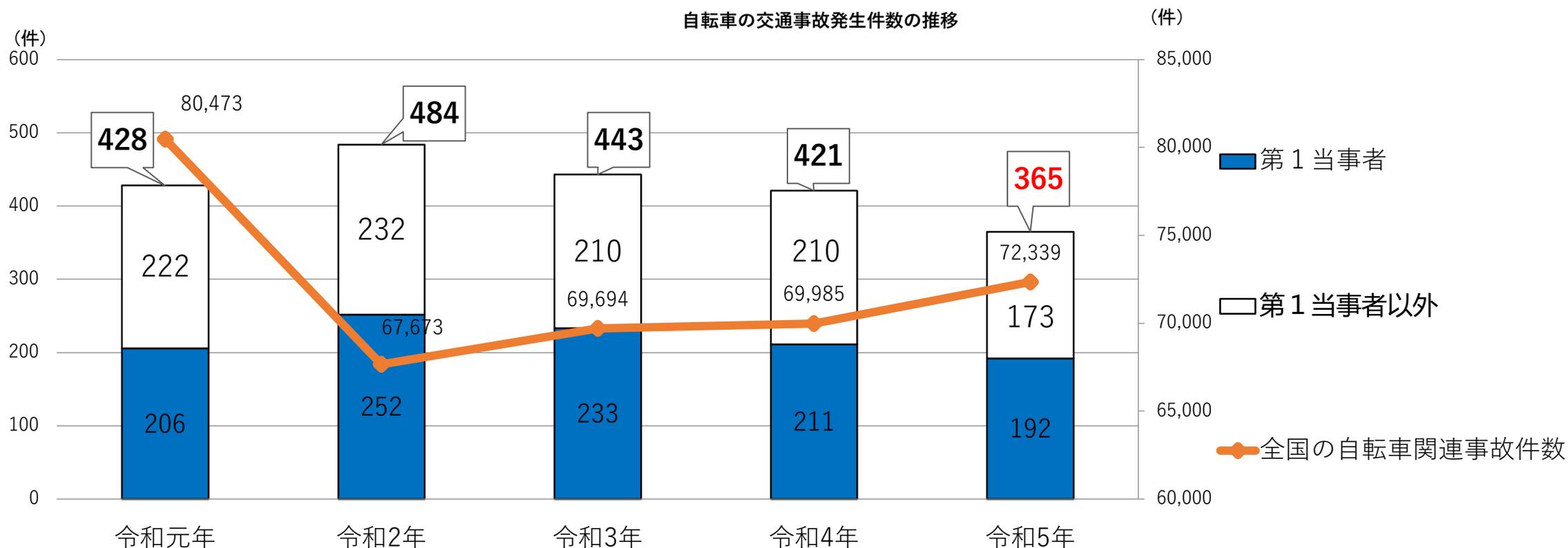
- 考え事など、漫然運転
- 安全確認をしなかった
- 安全確認が不十分だった
- ブレーキとアクセルの踏み間違い
- ブレーキの踏みが弱い、踏み遅れ
- 脇見等
- その他

1 令和5年における宇都宮市の交通事故の発生状況について

4 自転車の交通事故発生状況

① 自転車の交通事故発生件数の推移

全国の自転車事故は令和2年以降増加傾向にあるものの、本市の自転車の交通事故発生件数は減少傾向にある。



1 令和5年における宇都宮市の交通事故の発生状況について

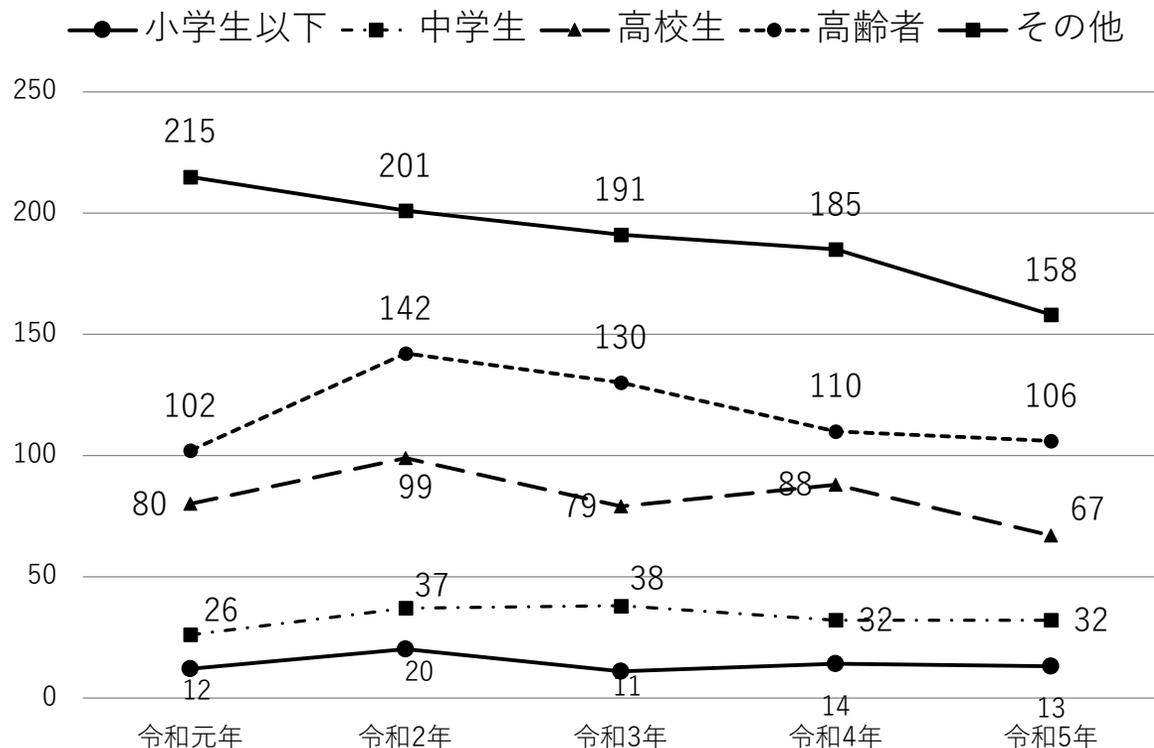
② 自転車の交通事故の世代別当事者数の推移

自転車の交通事故当事者数は、19歳から64歳の年代が最も多い。

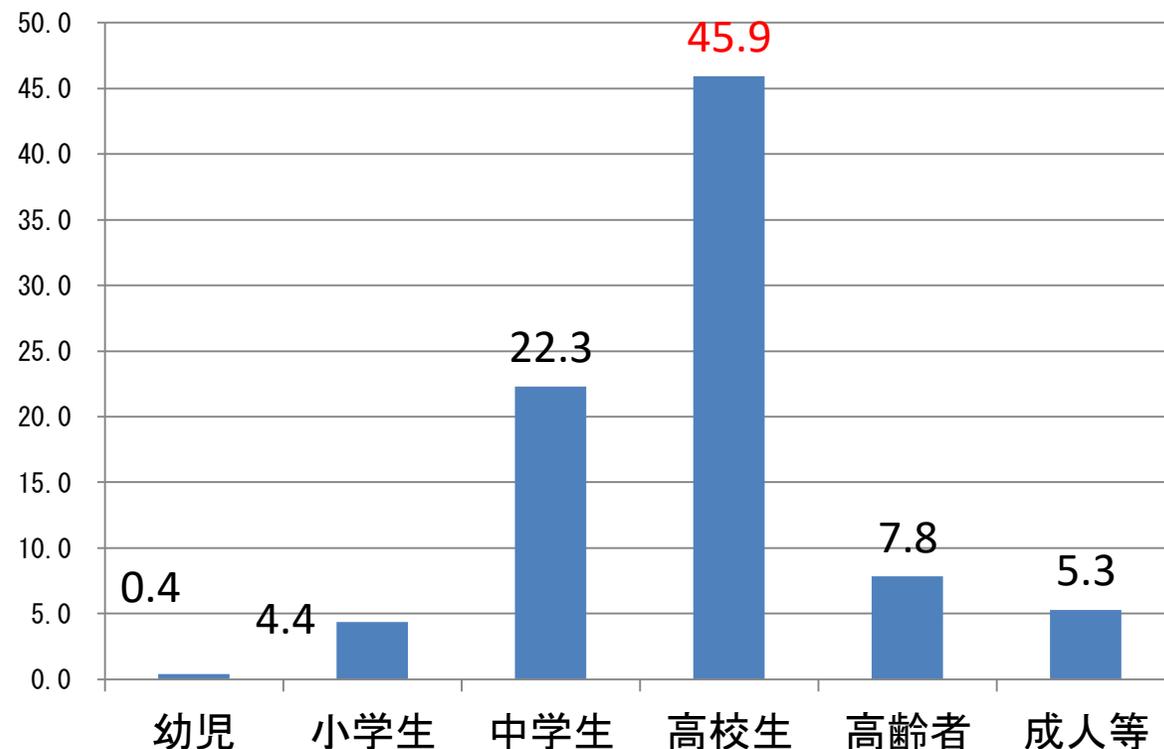
③ 令和5年の世代別人口1万人あたりの自転車事故当事者数

世代別人口1万人あたりの自転車事故当事者数を比較すると、高校生が突出して多い、次いで中学生となっている。

②自転車の交通事故の世代別当事者数の推移



③世代別人口1万人あたりの自転車事故当事者数



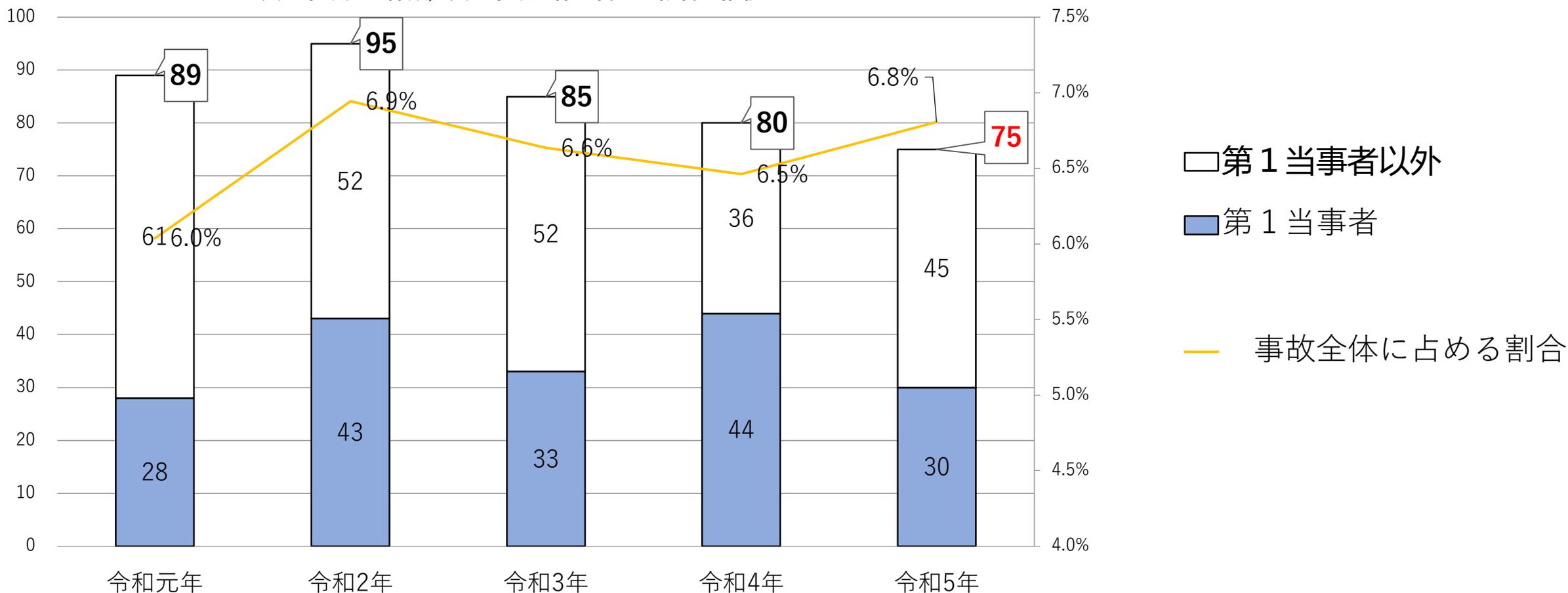
1 令和5年における宇都宮市の交通事故の発生状況について

5 子どもの交通事故発生状況

① 子どもの交通事故発生件数の推移

子どもの交通事故発生件数は令和2年以降減少している。

子どもの交通事故発生件数，交通事故全体に占める割合の推移



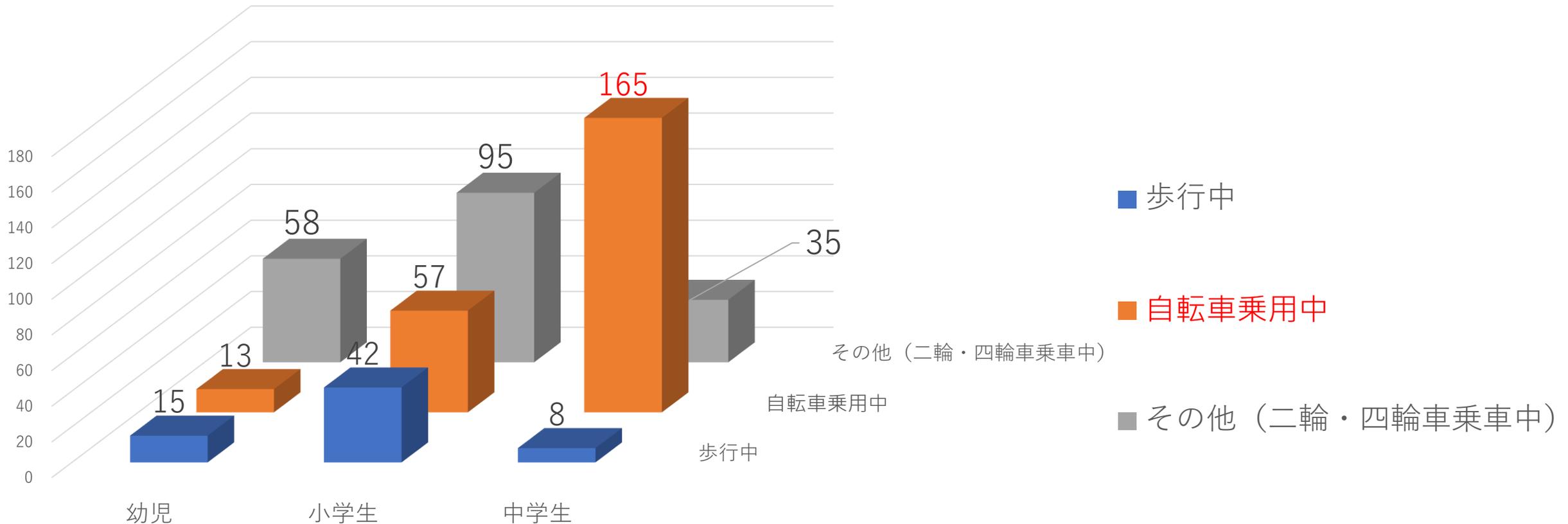
1 令和5年における宇都宮市の交通事故の発生状況について

5 子どもの交通事故発生状況

② 子どもの階層別・状態別当事者数（令和元年～5年累計）

小学生は歩行中・自転車乗用中の事故に大きな差はないが、中学生の事故の8割弱は自転車乗車中となっている。

子どもの階層別・状態別当事者数（R元年～5年）



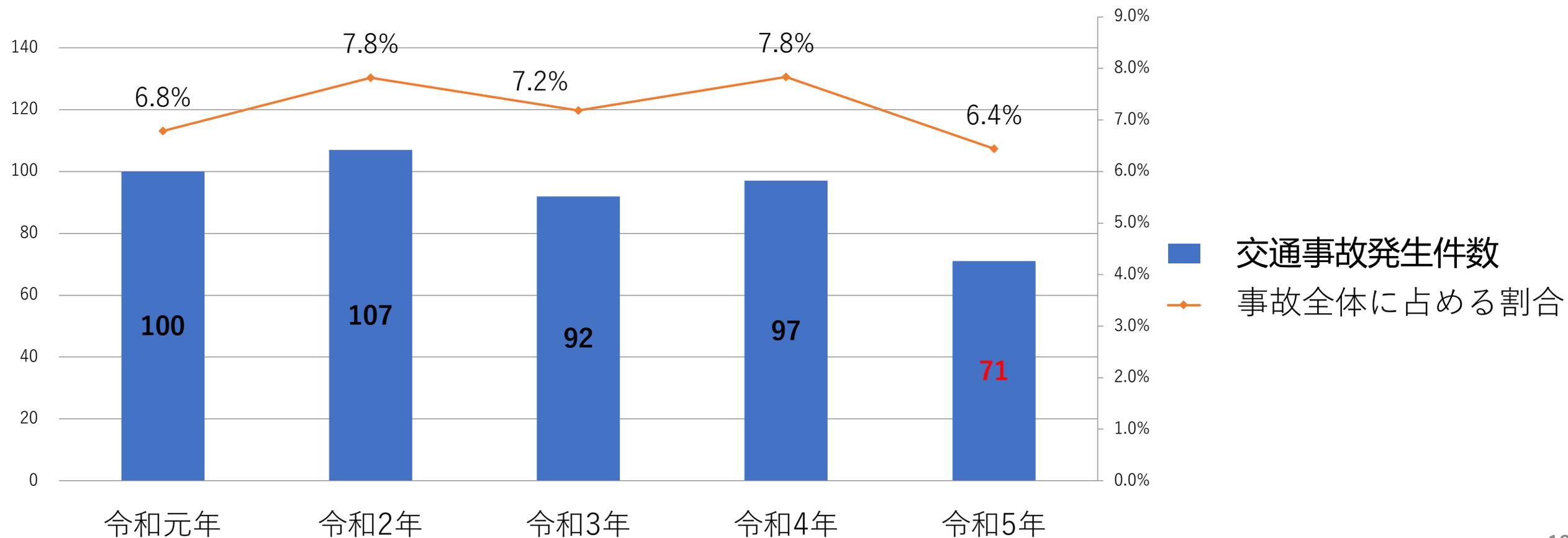
1 令和5年における宇都宮市の交通事故の発生状況について

6 高校生の交通事故発生状況

① 高校生の交通事故発生件数の推移

高校生の交通事故発生件数は減少している。

高校生の交通事故発生件数の推移



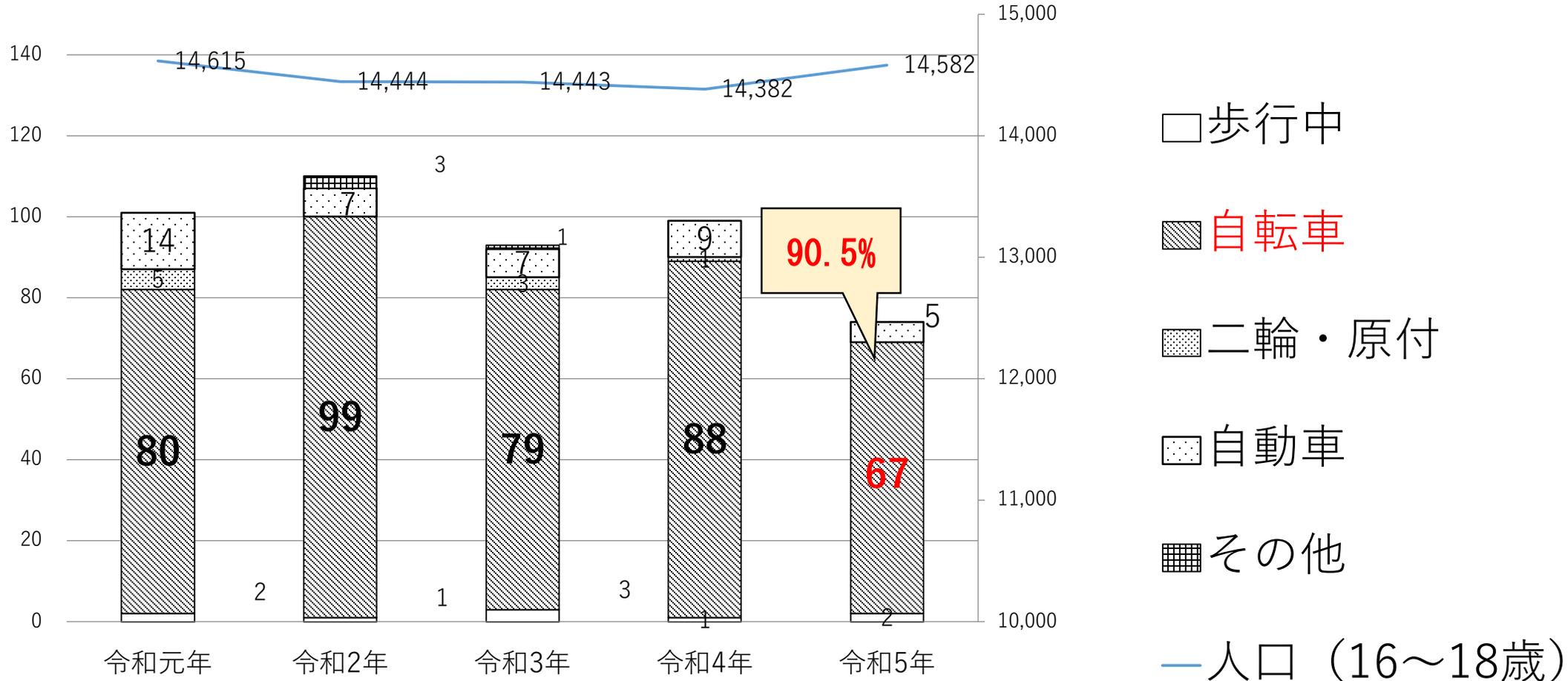
1 令和5年における宇都宮市の交通事故の発生状況について

6 高校生の交通事故発生状況

② 高校生の状態別当事者数の推移

高校生の交通事故の状態別では自転車乗車中が90.5%を占めている。

高校生の交通事故の状態別当事者数と人口の推移



1 令和5年における宇都宮市の交通事故の発生状況について

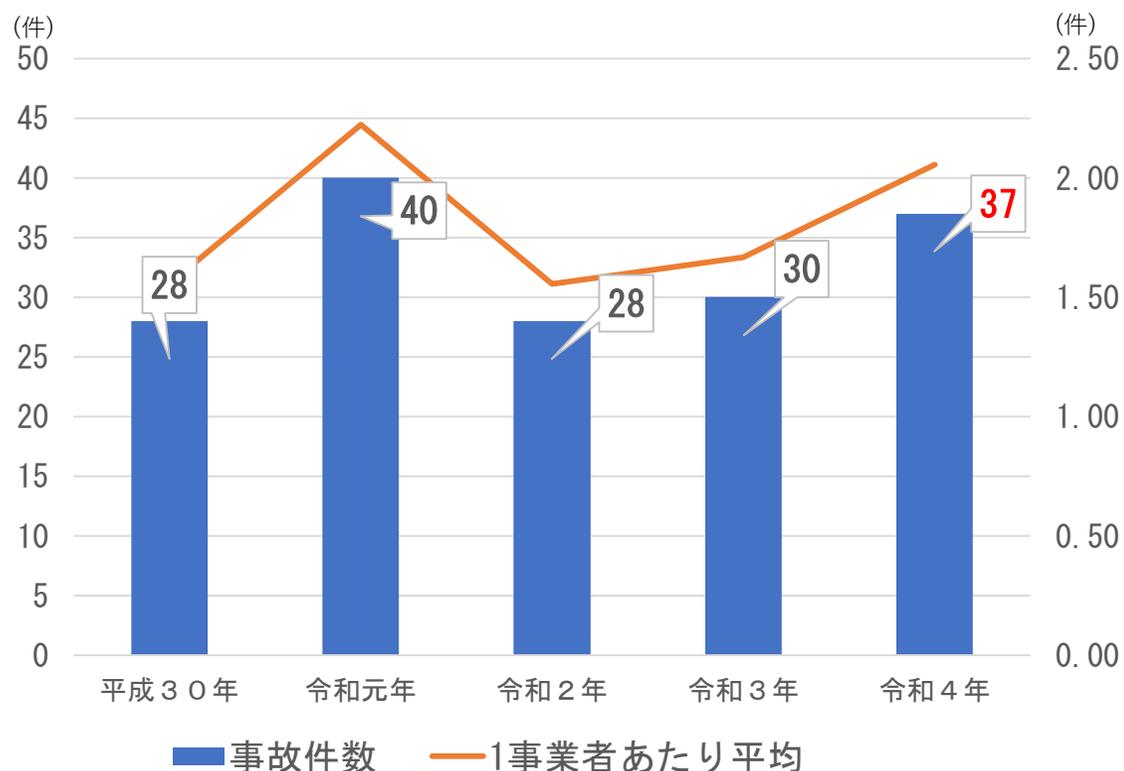
7 路面電車に関する交通事故（H30～R4）

- 全国の軌道運送事業者において、踏切障害や道路障害といった、踏切道や道路において列車（又は車両）が道路を通行する人または車両等と衝突・接触した事故は令和4年は37件発生した。

（1事業者あたり平均1.95件）

- 本市では令和5年8月開業のライトラインにおいて、令和5年中に5件の交通事故が発生した。

全国の軌道事業者運転事故件数



【用語の解説】

踏切障害

踏切道において、列車又は車両が道路を通行する人または車両等と衝突・接触した事故

道路障害

踏切道以外において、列車又は車両が道路を通行する人または車両等と衝突・接触した事故

【出典】

国土交通省「鉄軌道輸送の安全に関わる情報」
（平成30年度～令和4年度）